

# 我が運命こそ

(大正三年寮歌)

樋口桜五君 作歌  
赤木顕次君 作曲

## 一

我が運命こそ青渦わける  
千ひろの海の真珠取り  
美想にあこがるる身は  
驕楽の春に酔ひしれて  
戯る人を夢とはみつ  
逆まく波を聞きゆく

## 二

永遠に華さく水底ふかく  
神秘の巖に嫦娥の  
露のしづくの真珠またま  
掌に獲し光栄と喜悦と  
七重の潮の妙音にひびく  
美珠こそわれの生命なれ

## 三

薫る樹陰に花灰みえて  
朧おぼろの春の宵  
一壺の酒の汲む夢淡く  
心の酔に舞歌を  
社会高くしらべ祝はむ  
君瑞祥の歳なれや

## 四

彩雲低く恵の家に  
辛漂蕩ひてゆく水や  
姿うるほす柳の萌黄  
契りゆかしき春鳥の  
団欒の音をばうつし伝へむ  
遠くはるけき師の君に